

# 令和8年度 勤務実態改善計画

杵築市立宗近中学校

## I ねらい

教職員の心身両面にわたる健康の保持及び校務効率化の向上、また、教職員一人ひとりが仕事と生活の調和を図りながら、健康的・意欲的に職務に取り組んだり、生徒と向き合う時間を確保したりすることができるよう職場環境を整える。

## II 心身ともに健康で、意欲的に職務に取り組むことができるための取り組み

### 1. 残業時間の短縮

- ① ノー残業デーの実施（水曜日は17:30までに退庁する）
- ② 出退勤及び超過勤務時間の把握（出退勤システムの活用）、声かけの励行
- ③ 目標管理シートの項目に「働き方改革」に係る自己目標を設定する

### 2. 年休等の行使の推進とサポート体制の充実

- ① 年休取得の際の日課表調整と互いの協力により、休暇を取りやすい職場づくりに努める
- ② 活力を生み出すための計画年休を学期に1回以上実施
- ③ 「休暇ハンドブック」を活用した休暇制度の周知及び取得推進の声かけ
- ④ 子育て・介護・看護などに関する休暇取得の推進とサポート体制の確立

### 3. 業務の見直し

- ① 仕事量の偏りやバランスを考慮した校内人事と上司の積極的な支援
- ② 会議・研修・行事の精選、短縮校時期間や1時間削減の積極的な推進
- ③ 運営委員会、職員会議などの会議の定例化、意思決定の円滑化と効率化
- ④ 学校運営協議会（地域学校協働活動推進委員）や地域人材の積極的な活用
- ⑤ SC、支援員、スクールサポートスタッフ等のスタッフとの積極的な連携
- ⑥ ハイブリッド型教材「みんなの学習クラブ」やタブレットドリルの積極的な活用、校務支援システム（Te-Comp@ss）や欠席連絡アプリ（すぐーる）、校内ネットワーク（ミライム）による業務の効率化とペーパーレスの推進
- ⑦ 業務引継を意識したデータ保存、共有フォルダとファイルの整理
- ⑧ 業務を行いながら、年間指導計画・教育課程の見直し（整理縮小）

### 4. 部活動の指導体制の見直し

- ① 週あたり2日以上（平日1日以上、週末1日以上）の休養日を設ける
- ② 部活動の顧問は、可能な限り複数指導体制にする
- ③ 部活動指導員や外部コーチの配置に努め、専門的・技術的な指導の協力を得る
- ④ 杵築市教育委員会と連携し、部活動の地域移行・地域展開を推進する

### 5. 心身の健康増進の取り組み

- ① 定期健康診断の全員受診及び必要な場合は速やかに精密検査を受診するよう勧奨する
- ② ストレスチェック（年2回）の全員受検（職員会議時に一斉に行う）
- ③ 校内安全衛生委員会の開催

# 令和八年度 勤務実態改善計画（働き方改革）推進について

杵築中学校 校長 木村 宣昭

## I. 実際の取り組み

### 1. 安全衛生委員会について

\* \_\_\_\_\_部は新たな取組

#### (1) 月間勤務時間の振り返り

- ・超勤時間の縮減を目的 → 平均超勤時間の減少が徐々に進行中

#### (2) 業務削減案

- ・教科部会を平日分散開催し、水曜日の開催は2ヶ月に1回（実施中）
- ・年間授業時数の適正化→学期始・終を5時間授業で実施

### 2. 外部関係者への業務依頼

#### (1) 職場体験学習の受け入れ事業所等のセッティングの自動化に向けて

- ・学校運営協議会委員（地域協育 CDN）への依頼。

#### (2) ICT サポーターの市内小中学校定期巡回訪問（市教委事業）

- ・各種機器の設定や、日常の疑問が定期的に解消
- ・全国学力調査（CBT）の日に訪問依頼。

### 3. ICT機器の利活用の改善

#### (1) 「すぐーる（保護者連絡アプリ）」の有効活用（双方向連絡）

- ・欠席連絡と日課表連絡、配布文書、提出文書、アンケート等の回収・集約の削減
- ・PTA 学級役員の投票・集計を「すぐーる」で実施

#### (2) PC内フォルダー構成の再整理

#### (3) ペーパーレス会議（継続）…PC・タブレット等の利用

#### (4) タブレット端末の有効活用による評価業務等の負担軽減（改善）

- ・ロイロノートの利用で、成果物提出・集約が容易に。一部、評価も容易になった。

#### (5) 生成 AI を活用した校務文書についての研修を実施→効果的な利用へ

### 4. 部活指導の改善

#### (1) 部活動指導員配置増（市教委事業）、外部コーチの発掘・依頼

- ・期末整理期間・定期考査期間等の部活動時間の短縮。（取り組み中）
- ・部活動改革に向け、文化部を含む希望する全ての部活動に外部指導者を配置したい。
- ・複数の部の「認定地域クラブ化」の実施

## II. 今後の課題

### 1. 部活動改革について

#### (1) 地域クラブ化

生徒の地域クラブ（陸上競技）への加入が増加中。他校とも連携し、取組が進行中。

#### (2) 平日部活動に対する意識改革

教員・生徒・保護者ともに、週3日の練習日で十分という意識改革も必要か。

### 2. 専門部署・専門員の導入

保護者のクレームや愚痴などを専門に扱う部署の設置、再雇用教員の活用。

# 令和8年度 勤務実態改善計画

杵築市立山香中学校

## I ねらい

公務の能率の向上や教職員の心身両面にわたる健康の保持、あるいは「ワークライフバランス（仕事と生活の調和）」を図るためには、時間外勤務を縮減するための取組をより一層進めていくことが必要である。

教職員が健康的に日々の業務に従事できる職場環境こそが、次代を担う生徒の育成に重要である。21世紀を主体的に生きることができる心と体、そして確かな学力について調和のとれた人間性豊かな子どもたちを育成するための子どもと向き合う時間の確保が、質の高い教育を持続的に実践していくための基盤となる。

## II 重点目標

校務の効率化 「3S」（シンプル・スリム・スケジュール）の推進

## III 心身ともに健康で、意欲的に職務に取り組むことができるための取り組み

### 1. 残業時間の短縮

- ① 1ヶ月の残業時間の確認（水曜日は17:30までに退庁する）
- ② 平日は、スクールバス出発後、45分以内の退庁を心がける（夏時間：19:00、冬時間：18:15）
- ③ 勤務超過時間の把握（出退勤システムの活用）、声かけの励行（管理職）

### 2. 年休等の行使の推進とサポート体制の充実

- ① 年休取得の際の日課表調整と互いの協力により、休暇を取りやすい職場づくりに努める
- ② 「休暇ハンドブック」を活用した休暇制度の周知及び取得推進の声かけ（管理職）
- ③ 子育て・介護・看護などに関する休暇取得の推進とサポート体制の確立

### 3. 業務の見直し

- ① 分掌による仕事量の偏りを検証し、バランスを考慮して主任等を決定する
- ② 会議・研修・行事の精選、行事前における短縮校時期間や1時間削減の推進
- ③ 運営委員会、職員会議などの会議の定例化、意思決定の円滑化と効率化を図る
- ④ 学校運営協議会（地域学校協働活動推進委員）や地域人材の積極的な活用
- ⑤ SC、SSW、SSS等の専門スタッフとの積極的な連携
- ⑥ 分掌主任やプロジェクト主任との連携及び積極的な支援（管理職）
- ⑦ 中学校問題データベースやタブレットドリルの活用、校務支援システム（Te-Comp@ss）や欠席連絡アプリ（すぐる）、校内ネットワーク（ミライム）の活用による効率化とペーパーレスの推進
- ⑧ 業務引継を意識したデータ保存、共有フォルダとファイルの整理

### 4. 部活動の指導體制の見直し

- ① 週あたり2日以上（平日1日以上、週末1日以上）の休養日を設ける
- ② 部活動の顧問は、全て複数指導體制にする
- ③ 部活動指導員や外部コーチの配置に努め、専門的・技術的な指導の協力を得る
- ④ 杵築市教育委員会と連携し、学校部活動の地域移行を推進する

### 5. 心身の健康増進の取り組み

- ① 定期健康診断の全員受診及び必要な場合は速やかに2次受診（精密検査等）をするよう勧奨する
- ② ストレスチェック（年2回）の全員受診（職員会議時に一斉に行う）
- ③ 山香中学校労働安全衛生委員会の開催
- ④ 教職員からの改善提案の奨励